



中丹

農業改良

第33号

普及センターだより



地元の児童に農業体験を提供 ～タマネギ収穫～



京都府中丹広域振興局農林商工部

中丹東農業改良普及センター

〒623-0012 綾部市川糸町丁畠10-2

TEL 0773-42-2255

e-mail:chushin-no-higashi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

中丹西農業改良普及センター

〒620-0055 福知山市篠尾新町1-91

TEL 0773-22-4901

e-mail:chushin-no-nishi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

発行

2024年
(令和6年)

"築いていこう 差別のない 明るい社会"

中丹地域で取り組む普及活動の重点計画

3か年計画（令和3～5年度）で
取り組んでいる、4つの重点計画について報告します。

1.

次世代水田農業への支援

京都府オリジナル米新品種「京式部」は、令和3年度から府内で本格的に栽培が始まり、今年度は中丹地域で約55ha栽培されました。この品種は大粒で香りがよく上品な味わいであり、実需者からも好評を得ています。また、夏期高温条件でも品質が低下しにくいという特徴があります。

普及センターでは、令和3年度からの3年間で、試験ほ場の設置や講習会等を実施し、収量・品質を確保できるように支援を行いました。今年度の中丹地域の京式部の一等米比率は、コシヒカリよりも高く、農家からは良食味でコシヒカリよりも倒れにくい品種であると評価されています。普及センターではこれからも、安定した収量・品質の確保に向けた支援を継続します。



京式部現地講習会で栽培の注意点を説明



京丹後市の生産者から栽培のポイントを学ぶ

2.

農業・農村を支える 担い手の確保・育成

農業・農村を支える担い手に対し、経営や人材確保の面から支援するとともに、移住者や就農希望者が安心して農業に取り組めるような仕組みづくりを進めています。

今年度は従業員を雇用中、または雇用検討中の農業経営体に対し、「働きやすい職場環境づくり研修会」を行いました。農業経営体側の受け入れ体制について意見を出し合い、従業員への接し方や対人関係についての悩みを共有しました。

また、農業に関心のある中丹管内在住の非農家の方を対象に、農業の楽しさを体験する「農業の魅力体験研修会」を行い、集落営農組織やUターンで農業を始めた方の現状を学ぶ機会を設けました。

引き続き、経営感覚に優れた担い手の育成と、多様な方々が農業に関わり、補完・協力し、地域を支える取組みを行います。



収穫体験を通じ農業の魅力を紹介



講師からは「働きやすい職場環境づくりには日々の声掛けが大事」との意見

中丹地域で取り組む普及活動の重点計画

3か年計画（令和3～5年度）で
取り組んでいる、4つの重点計画について報告します。

3. もうかりまっせ！京野菜

管内の主要園芸品目である万願寺甘とうにおいて、生産者や民間企業と連携し、環境モニタリングデータから「理想の栽培環境」を明らかにしました。今後は生産者がデータに基づく栽培管理ができるよう取り組みを進めていきます。

また、今年度も新規生産者等を対象とした「万とうゼミ」を開催し、基礎技術やICT農業技術等をテーマに、早期技術習得と経営安定への支援を行いました。

産地化を進めるえびいもでは、展示ほ場を活用し、えびいも栽培特有の土入れをはじめ、基礎技術習得に向けた栽培講習会や、重労働で手間のかかる作業の機械化実証に取り組みました。今後も省力機械化栽培の確立に向け、取り組みを継続します。



万とうゼミでは生育状況を見ながらリアルタイムでの管理を学ぶ



手作業で労力のかかる土入れ作業を機械で実証中

4. 地域づくり 集落営農組織等の後継者確保対策を支援

集落営農組織などの役員や機械オペレーターの後継者は、普及センターが行った調査で、約8割の組織が「すでに不足している」「将来的に不足する可能性が高い」など、後継者の見通しが立っていないことが明らかとなりました。そこで、集落営農組織に対しては農作業のニーズ調査（時期や作業内容など）を、後継者候補者に対しては組織への就業意欲などの意向調査を行い、マッチングを図る取り組みを進めています。

また、昨年11月29日に行った「集落・地域営農推進大会 in 中丹」の中で、普及センターから後継者確保の事例を紹介するとともに、全体討議でも後継者確保対策を取り上げて、議論を深めました。



「集落・地域営農推進大会 in 中丹」では、組織の後継者対策について全体で討議



福知山市内の非農家に対し、組織の概要について説明する農事組合法人の代表

□ 地域で活躍する農業士

福知山市 岡本 晴樹さん

福知山市岩間で営農

しています。細く長く

やっていきたいという

思いから、水稻に専念

して取り組んでいます

。最近では、地域のラ

イスセンター業務を引

き受け、地域の活性化に尽力しています。

植物そのものや栽培することが好きで、生産者とし

て携わりたいと思い、「担い手養成実践農場研修」を経

て、第三者農業経営継承で15年前に就農しました。昨

年からは息子も農業に参入し、ダブル継承で地域を盛

り上げています。

「ネイチャーポジティブ」。この言葉を胸に、大好き

な自然の中でこれからも日々精力的に活動していきま

す。



指導農業士 岡本さん

□ 『担い手養成実践農場研修』

修了者に聞く(就農準備型)

綾部市 前田 隆太郎さん

令和2年から2年間、「担い手養成実践農場研修」で栽培技術をしつかりと学び、地域の支援を受けながら令和4年に綾部市有岡町で就農しました。

独立・自営就農後はハウスでの万願寺甘とうを中心に栽培し、栽培管理や病害対策などで、思ったとおりに行かないことの連続ですが、日々解決方法を模索し、試行錯誤を重ねています。

現在は自分の時間を持てるようになり、充実した毎日を送っています。また、えびいもや堀川ごぼうなどの品目にも力を入れており、農業経営を軌道に乗せていきたいです。

これからも、若い担い手として地域の力も借りながら農業を続けていき、将来は綾部市を代表する農家になることができるよう、自己研鑽を惜しまず、日々農作業に勤めます。



万願寺甘とうの収穫作業中の前田さん

頑張る生産者の声

好きなことを仕事に

福知山市 佐藤 尚弥 さん



美味しい万願寺甘とうのため日夜勉強中

～担い手養成実践農場研修中～

大学の時から土いじりが好きで、前職を辞した後農業法人でアルバイトし、令和4年度から福知山市三和町で「担い手養成実践農場」で研修しています。

万願寺甘とうは、おいしくて単価も高いため、この品目なら農業で生計を立てられると考え、今年度は11a栽培しました。病害虫に気を付けており、ほ場をよく観察し、早め早めの防除を行うように心がけています。

子供が畑に遊びに来て、作物を触って笑っているとうれしいので、収量上げて売上げも伸ばして、妻と子供に贅沢させてあげられるように頑張りたいです。

地域を守る法人

福知山市 農事組合法人 川北ファーム



川北ファームのみなさん

福知山市川北地区でのほ場整備を機に、令和3年に発足しました。

営農可能になったほ場から順次小豆・小麦の栽培を開始しており、整備完了後は水稲も加えて約20haの規模になる予定です。

小豆・小麦栽培が未経験のメンバーが多いので苦労もありますが、増収に努め先祖代々受け継いできた農地を地域全体で守っていききたいです。これからも、地域営農を支える法人として栽培に取り組んでいきます。

最適な栽培環境づくり

舞鶴市 嵯峨根 幹雄 さん



イチゴは高設ベンチで栽培

pH調節機

イチゴのpH調節に取り組む

7～8年前から養液栽培で「舞鶴いちご」を栽培していますが、イチゴはpHに敏感な植物で、私の就農地の水質はアルカリ性であることから、養液のpHを調整する必要がありました。今年度は、京都府の事業を用いてpH調節機を導入し、イチゴに最適な養液のpHを常に維持することで、さらなる品質向上を目指しています。

将来を担う若手生産者

舞鶴市 増本 賢志朗 さん
さつき さん



えびいも出荷調製中



リピーター続出の
塩煎り落花生

私たちは生まれ育った舞鶴市上東の土地を守りたい、若い力で活性化させたいという想いを抱き、夫婦で力を合わせ、現在水稲(3ha)、落花生(35a)、えびいも(7a)の栽培に取り組んでいます。より質の良い仕事のために、ほ場管理を欠かさず、耕作放棄地を増やさないための取組みにも力を入れています。祖父が遺してくれた農業を継ぎ、今後も土地と家族と家を大切にしていきたいです。

Topics

農福連携の動き

普及センターでは、農福連携の推進に向け、農業者と福祉事業所のマッチングを支援しています。

今年度は、綾部市上八田町の山本哲也氏と福知山市内の福祉事業所のマッチングを支援しました。主な作業内容は万願寺甘とうの収穫作業で、福祉事業所の利用者の皆さんからは、「収穫したコンテナいっぱいの万願寺甘とうを見ると達成感がある。」と好評でした。農業者は「人手が必要な作業を効率良く行ってもらい、大変助かっている。これからも引き続きお願いしたい。」と農福連携に手応えを感じています。



作業のポイントをていねいに説明

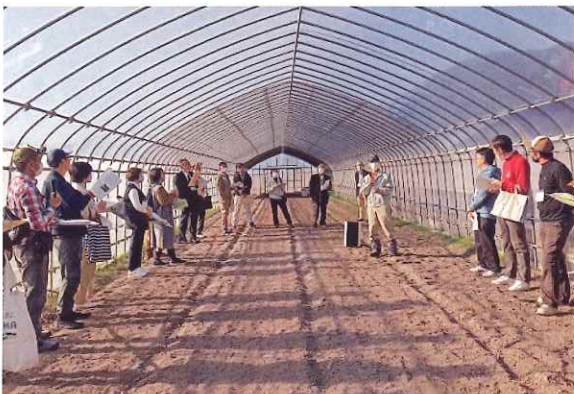


万願寺甘とうの収穫作業を行う利用者のみなさん

丹波地域の農業士と 交流を深める

昨年11月21日に京都府南丹市において、「大丹波連携活動農業士等交流会」が行われ、中丹地域農業士会から5名の参加がありました。この取組みは兵庫県丹波、京都府南丹・中丹地域の農業士が集い、意見交換など交流を図るものです。

一同は、京都市内から農外参入によって大規模な施設野菜栽培を実現し、平成28年に子に経営を引き継いだ事例などを見学しました。参加者からは「新規就農者の経営が成り立つハウスの棟数は？」など、活発な質疑が行われました。



新規就農者への支援などについて
意見交換する参加者（南丹市八木町）

農作業安全

～命を守るトラクターの使い方～

農作業による事故は非常に多く、農業従事者10万人当たりの死亡者数は、建設業の約2倍、全産業平均の約9倍にも上ります。その中でも乗用トラクターによる事故が3割を占めています。

しかし、これらの事故は事前の対策で防止・軽減することができます。トラクター等を使用する際は、安全フレームを立ててから乗車し、シートベルトを着用し、路肩や段差ぎりぎりでの作業や走行は避けましょう。



学校給食を支える 福知山市地場野菜生産出荷組合 連絡協議会

「福知山市地場野菜生産出荷組合連絡協議会」は14組織29名の生産者で構成されており、福知山市の全小中学校の給食を調理する、福知山市学校給食センターに野菜を出荷しています。1日に使用する野菜の量が多いため、事務局が生産者ごとの生産計画の作成や計画出荷のための定期的なほ場巡回、必要に応じて生産者間の出荷量の調整などを行っています。

協議会では子供たちに美味しい地元産野菜を食べてもらえるよう頑張っています。



計画出荷に向け事務局(左)が生育状況を確認

獣害対策

～耕作前に防護柵の定期点検を～

現在中丹地域ではほとんどの集落が獣害に悩んでおり、そのため近年では獣害対策としてワイヤーメッシュ柵が増加しています。

そんな防護柵ですが、設置後は放置していませんか？

特に山際の防護柵は点検が難しく、「いつの間にか破損して獣の通り道に」ということもありますので、定期的な点検を心掛けましょう。

また、積雪等でも破損しますので、耕作前には必ず点検をしましょう。



積雪によりなぎ倒された防護柵

緑肥を活用した水稻栽培 ～化学肥料の低減を目指して～

管内では価格が高騰する化学肥料の代替として、レンゲやヘアリーベッチなどのマメ科植物を基肥として活用する水稻栽培が実施されています。これは令和3年5月に策定された「みどりの食料システム戦略」で目標として定められている化学肥料の使用量低減等に貢献する技術として期待されています。

普及センターでは、緑肥について理解を深める勉強会や、緑肥の窒素量の推定、水稻の生育調査などを通じ、緑肥活用のノウハウ確立に向けた支援を行っています。



先進地である滋賀県でノウハウを勉強

全国茶品評会

～かぶせ茶の部～

農林水産大臣賞・産地賞を受賞

福岡県で開催された第77回全国茶品評会において、かぶせ茶の部で舞鶴茶生産組合岡田下支部代表の菱田繁政さんが農林水産大臣賞を、舞鶴市が産地賞を受賞しました。さらに中丹地域では農林水産省生産局長賞をはじめ、多数が上位入賞しました。



表彰式での菱田繁政さん

普及センター掲示板

後継者の育成等
よろしく
お願いします！

新しい農業士さんです

舞鶴市

指導農業士 泉 陽一 さん

舞鶴市西方寺で「赤岩高原にわとりファーム 泉農園」として採卵養鶏を主軸に水稻・万願寺甘とうなどを栽培しています。

養鶏飼料は自家配合にこだわり、地域の特産物である万願寺甘とうの赤く熟したものを配合することで、黄身を赤みを帯びた鮮やかな色合いにしています。



福知山市

指導農業士 岩切 啓太郎 さん

福知山市荒河で、無肥料・無農薬で多品目の野菜と小麦を栽培しています。野菜は主に宅配で全国へ販売し、小麦は焙煎して茶に加工するか、妻の製パン部門へ提供しています。

私のような農法の新規就農者であっても販売先や生産に困らないよう、サポートしていきたいです。



普及センターだよりのバックナンバーをwebで閲覧

中丹東農業改良普及センターのウェブサイトで、平成16年発行の第1号から昨年発行の第32号までの普及センターだよりを閲覧できます。懐かしい記事もありますので、是非ご覧ください。



伝承技能登録、 新たに7名が登録へ

中丹管内で新たに7名の方の技術が登録されました。今後、次世代への伝承活動も含め、さらなる活躍を期待いたします。

名 前	技術の名称
福知山市 岡本 嘉明 さん	肉用鶏の生産と加工
福知山市 細見 昌一 さん	丹波くり栽培
舞鶴市 安原 和彦 さん	サワラひき縄釣り漁法
綾部市 四方 久野 さん	実山椒の加工
綾部市 川北 正子 さん	地域の食材を使った加工品づくり
綾部市 川北 育子 さん	地域の食材を使った加工品づくり
綾部市 長澤 勝美 さん	和牛飼育管理とパイプハウス牛舎(低コスト化)の利用技術

お世話になりました

退任される農業士さん



綾部市 指導農業士 四方 節也 さん

綾部市 指導農業士 井上 和志 さん

京都府農山漁村伝承優秀技能認定者 『農の匠』に認定

伝承技能登録の内、極めて希少価値が高く優秀な技術者を認定しています。

村上 敏郎 さん(綾部市)

通常より早い時期に定植しながら、トンネル開閉や被覆資材の検討等の工夫で安定した万願寺甘とうの露地栽培を実現しています。

さらに、管内の早期定植している数少ない露地栽培農家の中で単収1位を複数回達成しており、その高い技術は地域の生産者の手本になっています。



"農薬はラベルをよく見て、安全に使用しましょう"